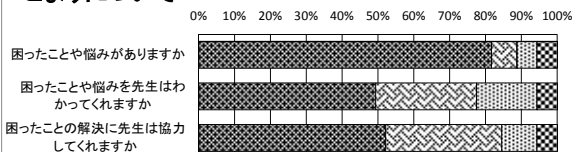
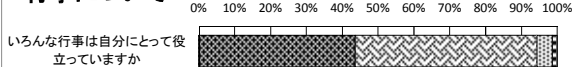


こまりにについて



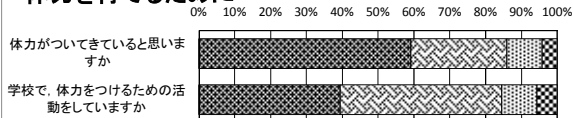
前期と比べて、悩みや困りはなくなったものの、先生はわかってくれるが10ポイントほど下がっている。高学年になるほど困りが発見しにくくなる反面、悩みを先生に相談しにくいと回答しているところが気にかかる。しっかりと児童に寄り添い、個々の変容をしっかりととらえていくように留意したい。

行事について



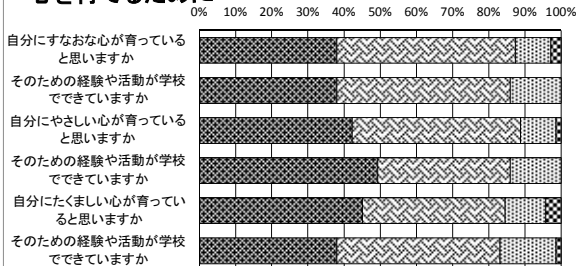
前期と比べて肯定的が6ポイントほどアップしている。様々な行事を経験してきて、楽しかったことが記憶に残り次年度はという意識が働いているからであろう。特に、高学年は全校を動かす役割があり、できたという達成感が成長をより促しているようである。

体力を育てるために



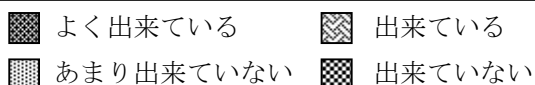
前期と比べて肯定的が5ポイント前後下がっている。寒くなったことや積雪のために外に出にくくなったことが原因として考えられる。可能な限り縄跳びなどの体力づくりや体育館遊びで体を動かせるようには手立てを打っている。

心を育てるために

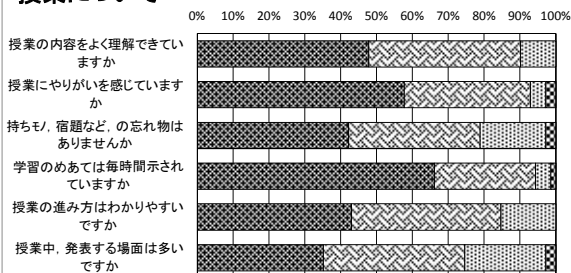


前期と比べて心が育っているが数ポイント低く、経験や活動ができていないが数ポイント高くなっている傾向にある。また、全項目を通して低学年ほど高く、高学年ほど下降傾向にある。自己を見つめられるように成長してきたとき、理想の姿と自分の姿のギャップを感じ取っていると思われる。経験や活動が高くなっている現状から理想に近づこうと努力している姿がうかがわれる。

児童アンケートの結果と考察



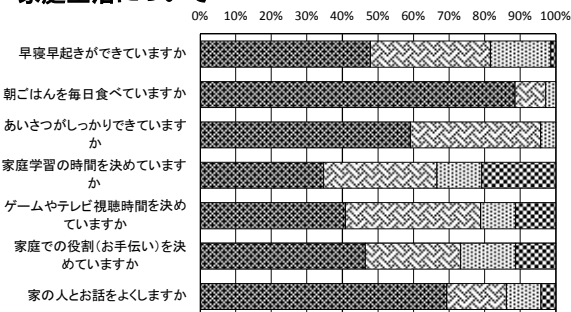
授業について



前期と比べて内容理解ややりがいについて肯定的な方に傾倒している。特に低学年にその傾向が強い。逆に、進み方はわかりやすいではよくわかるが10ポイント低く、あまりわからないが10ポイント高くなっている。特に高学年ほどこの傾向にある。

内容がより難しくなることもあり、児童の理解に応じた授業の展開を工夫するとともに、自己の考えを発表する機会を与えることでわかりを作らせていきたい。また、そのためにも、宿題忘れや学習用具忘れをさせない取組をするともに家庭の協力を仰いでいきたい。

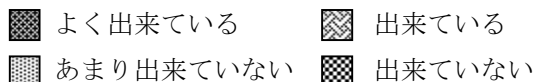
家庭生活について



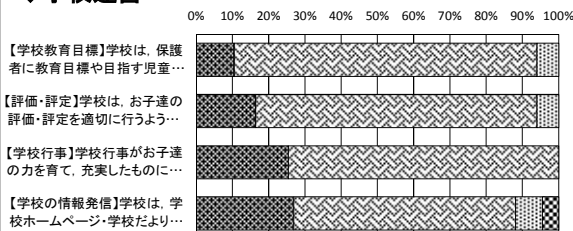
8割を切っているものの前期と比べて視聴時間や家庭での役割が上昇している。家庭での約束事が実を結びつつあるのであろう。

しかしながら、早寝早起きや家庭での会話に下降傾向が見られた。そのことは保護者アンケートと比しても、児童の方が若干下降傾向にあり、親以上に子どもの方が自分を厳しく見ているのかもしれない。

保護者アンケート の結果と考察

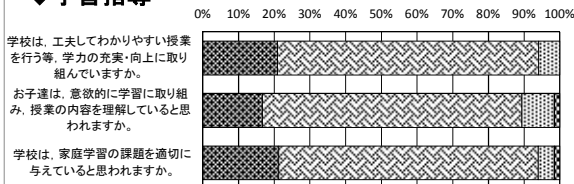


◆学校運営



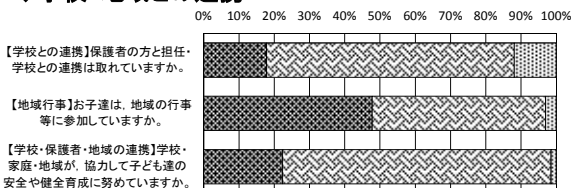
総じては前期同様高い評価をいただいている。情報発信についても微増ながら評価いただいているが、逆に厳しい評価をいただいた点もある。ホームページにおける学年間のばらつきに起因すると思われる。学級だよりだけでなくHPにおいても発信を求めているということであろう。

◆学習指導



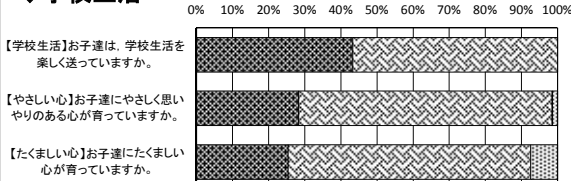
総じて前期より高い評価をいただいております。その中でも、「お子達は、意欲的に学習に取り組む、授業の内容を理解していると思われませんか。」において、マイナス的な側面が半減したもののまだ2桁の高いポイントを示している。より子どもたちが学習に意欲を示しつつ、学び知につながるような指導の工夫を積み重ねていくように心がけていきます。

◆学校・地域との連携



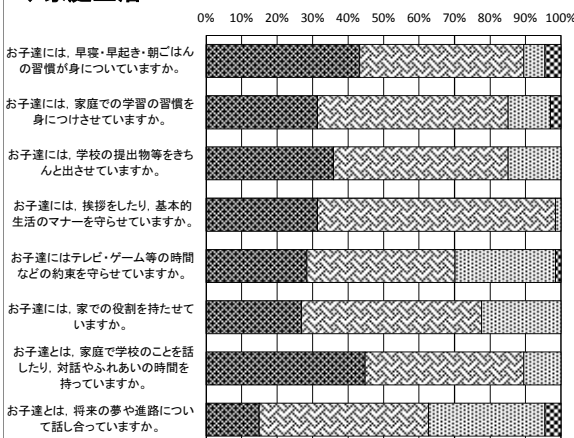
前期よりも総じて高い評価をいただいております。その中でも地域行事や学校・保護者・地域連携において「よく出来ている」が10ポイントほどアップしている。保護者が子どもたちを通して広く学校・地域等に目を向けていただけたからであると感謝している。これからも、子どもたちを学校や保護者のみで見るのではなく、地域の一員として子どもを育てていければよいと感じていますし、そのためにも、保護者も地域とかかわっていただければ、ありがたいと思います。

◆学校生活



前期に比しておおむね高い評価をいただいている。その中においてたくましい心に伸び悩みが見られた。本校の伝統ともいえる優しさを持った子だけでなく、たくましさをもう少し磨いていただきたいという表れであろう。子どもたち同士の切磋琢磨の機会を十分に生かしてよりたくましい心へと育てていきたい。

◆家庭生活



前期に比して、おおむね満足が高いポイントとなってきました。その中でも、よく出来ているの伸びが大きくされており、保護者の子どもたちへのかかわりが増したことに起因すると考えられる。とはいうものの、ゲーム等の約束や将来の夢についてはまだまだ低さが見られる。子どもとの対話の時間をより持っていただけると改善が見られるのではないかと考えられる。また、低学年の場合、将来の夢は、非現実的であることも多々あります。その昔であれば、お姫様や王子様など童話の世界に夢を抱く子どもがいました。こういう夢物語もより高い理想への意思表示と考えていただければ、対話しやすいのではないのでしょうか。

《意見・アイデア》

いつも楽しく学校に通っています。先生方には感謝しております。今、1年生ですが、この先通学については少し不安があります。(子どもの数が減り安全上の問題)一人で歩いて登下校することもあり得ますが、何かその時に対応を考えていただきたいと思います。

橋の建設のための通学路の変更時より、毎日先生方が見守りに来ていただきありがとうございます。お忙しい中、本当に子どもたちのことを考えて頂き感謝しております。

6年間ありがとうございました。心も体も大きく成長することができました。

親の仕事が忙しくて我慢させてしまっていることもたくさんあるけれど、「ごめんね…」より「ありがとう!」を伝えていきたい。そう思いながら子育てをしています。叱るときに、あなたのことが大事だから(きちんとマナーなどを守れるように)と言う。ただ叱るよりわかってもらえる事が多い。その後抱きしめるようにしている。結構効果的です。